

## 令和5年度 第14回部長会議 会議記録（要旨）

開催日時：令和6年3月1日（金） 14時00分から15時50分まで

開催場所：A203-204会議室

出席者：佐藤市長、高田副市長、熊谷教育長、原田総務部長、林企画部長、小倉リニア推進部長、牧島リニア駅周辺整備担当参事、橋本市民協働環境部長、田中ゼロカーボンシティ担当参事、林健康福祉部長、高山こども・子育て担当参事、清水産業経済部長、今産業経済部参事、井田建設部長、佐藤建設部参事、岡本危機管理部長、佐々木上下水道局長、齊藤市立病院事務局長、北原会計管理者、秦野教育次長、和泉議会事務局長、佐々木財政課長、小室秘書課長、小椋南信州広域連合事務局次長、澤柳企画課長

## 会議内容

## 1 理事者あいさつ

## ＜市長＞

- ・第1回定例会が開会し、これから議案審議、一般質問がある。一般質問の答弁整理について、市長答弁は、ポイントだけで良い。答弁内容が各部局の出したものと違うと思うかもしれないが、各部局からの答弁書案があって答弁しているものだと理解いただき、答弁書案の作成について協力いただきたい。
- ・財政見直しについて、起債の残高は増えて基金の残高が減る状況は承知いただいていると思う。長期的に見ても非常に厳しい財政状況である。新年度からのことではあるが、事業の見直しをゼロベースでやっていると持続可能な財政運営にならない。これから新年度予算の審議、その後執行となるが、執行においてくれぐれも無駄遣いをせず、見直すところがないかという観点を持っていただきたい。

## ＜副市長＞

- ・これから委員会が始まる。事務事業進行管理表を予算の説明で使うが、実績の数字を見ながら、当初予算がどうなのかを質問する議員が多い。実績についてしっかりと確認しておいていただきたい。
- ・予算規模についても質疑があったが、委員会では、規模の大小よりも個々の事業の説明に入る。事業の狙い、課題認識、なぜこの事業をやるのか、特になぜ新規に取り組むのかをしっかりと説明してほしい。
- ・財政見直しは非常に厳しい。行革本部会議において、事務の見直し、行政サービス向上に向けてしっかり取り組んでいく。

## ＜教育長＞

- ・配布しているタブレットでアクセスしている履歴を見ることが、個人情報、閲覧について、個人の人権を侵害しているのではないかという記事が新聞報道された。飯田市の場合は、同意書を取って学習のみに使うという中で行っているのので、県の情報セキュリティ担当に確認をし、問題ないという認識をしている。個人情報など、いろいろなことが話題になるが、正しく手続きをとっていただければ心配することはないことを改めて認識したところである。

## 2 報告事項

## (1) 第2次飯田市職員の仕事と生活の調和の推進に関する事業主行動計画の数値目標の一部改定について

## ◇趣旨

- ・第2次飯田市職員の仕事と生活の調和の推進に関する事業主行動計画の数値目標の一部改定について報告する。

## ◇意見

(市長)

- ・これまでの男性の育児休暇取得実績における計算方法の分母が大きかったということか。  
(人事課長)
- ・3年まで取得できることから、これまでは3歳までのこどもがいる全職員を対象者としていた。  
(議会事務局長)
- ・どのように実現していくかの具体的な方策について聞かれる可能性があるため、用意しておく必要がある。

(市長)

- ・育児休暇を取得する人が申請するのか。取得率が上がっている事例では、育児休暇を取得しない人が申請するなどの工夫をしている。そういったことはできるか。

(人事課長)

- ・育児休暇の取得申請がなければ休暇を取得することはできないが、そのような仕組みを導入することは可能である。

(市長)

- ・子どもが生まれることは歓迎すべきことであり、病気と違って突発性があまりなく半年以上前から予見ができる。職場全体でそこでその人が休むことを前提として動き、半年以上前から準備することで、やむを得ない理由が相当にある場合以外は基本的に育児休暇を取得する認識でいていただきたい。

(会計管理者)

- ・1週間の単位は実勤務日の1週間なのか、週の日曜から土曜日までの1週間を指すのか。

(人事課長)

- ・実日数での5日間となる。

(市長)

- ・分割取得は可能か。

(人事課長)

- ・連続日数での取得になる。これまでの実績では、1週間程度は比較的取得している。

## (2) 名札様式の変更について

### ◇趣旨

- ・名札様式の変更について報告する。

### ◇意見

(市長)

- ・木材の名札はどのようになるのか。着用を続けても良いのか。

(人事課長)

- ・林務課と検討しているところ。着用を続けていただくことも可能である。

## (3) 財政見通しと財政運営目標について

### ◇趣旨

- ・財政見通しと財政運営目標について報告する。

### ◇意見

(企画部長)

- ・人件費について、行革では目標800人ということだが、推計に見込んでいるか。

(財政課長)

- ・一気に800人を超えることは難しいため、定年延長制度を活用しながらそれに近づけていくものとして推計している。

(企画部長)

- ・維持補修費が前回の公表値よりもマイナスということで、これは物件費の伸びを踏まえてもマイナスになるということだが、普通建設費をある程度抑制していく中で、改修はしっかり取り組んでいくという関連性の話はどのように説明していくか。

(副市長)

- ・施設の長寿命化などの改修は全て普通建設費に入ってくるため、維持補修費はそれほど増えないという考え方である。あとは普通建設費の中でどのように優先順位をつけていくかということになる。

(産業経済部参事)

- ・産業団地の整備は大規模事業には記載されていないが、推計には入っているか。

(財政課長)

- ・基本的には基金で対応し、一般財源を使わないことから記載されていない。ただし、基金を使わない整備費等については加味している。

#### (4) 飯田市行財政改革大綱に基づく実行計画の報告について

##### ◇趣旨

- ・飯田市行財政改革大綱に基づく実行計画の報告について報告する。

#### (5) 飯田市行政事務DX推進方針取組状況の市議会全員協議会への報告について

##### ◇趣旨

- ・飯田市行政事務DX推進方針取組状況の市議会全員協議会への報告について報告する。

##### ◇意見

(市長)

- ・Webサイトのリニューアルを年度内に行う。管理方法は各課に権限を与える形であるため、更新頻度を増やすこと、古い記事をいつまでも置いておかないこと、閲覧してほしい記事を積極的に上げることなど、各課におけるWebサイトの管理をしっかりとこまめにやってもらいたい。既に事務的には依頼していると思うが、私からもお願いしたい。

- ・生成AIの利活用は、今どのようになっているか。

(デジタル推進課長)

- ・AI音声文字起こしシステムを導入している。その機能の中に文章の要約や箇条書きに生成する機能がついており、文章を整理することがすごく簡単にできる。インターネット側での作業となるなど、使い勝手があまり良くないため、来年度はもう少し使いやすい環境のもので、全庁的に使えるものを検討していきたいと考えている。

(企画部長)

- ・記述式のアンケートを取り込んで、それを要約する機能もあり、アンケートの集計では比較的使うことができる。

(議会事務局長)

- ・議会では、チャットツールを有効的に活用している。どこにいても必要な情報が届く。部長会議のメンバーは、必ずしも執務室にいるわけではないため、使用を検討したほうが良いのではないかと。

(デジタル推進課長)

- ・市役所の中のネットワークはLGWAN系を使用している。議員はスマホやタブレットを持っており、LGWAN系には繋がらないインターネット系である。本来はLGWAN系とインターネット系の間で情報をやり取りすることはできないが、このチャットツールを使うと、LGWAN系とインターネット系で情報をやり取りすることが安全にできるので、部長が外にいてもLGWAN系からメッセージを送ればスマホ等にメッセージを届けることができるという提案だと思う。検討させていただく。

(市長)

- ・一般職員が部長に対して、休日であっても楽に連絡できるということか。

(デジタル推進課長)

- ・添付ファイルを送ることもできる。

(市長)

- ・議会ではどのように活用しているのか。

(議会事務局長)

- ・添付資料による情報共有、危機管理事案への対応、広報からの記者会見配布資料の共有など。

(市長)

- ・今までファクシミリでやっていたようなことができるということか。

(デジタル推進課長)

- ・個人のスマホにデータを送るときの、セキュリティ、情報管理の問題が課題になる。

#### (6) 令和6年度記者会見の日程について

##### ◇趣旨

- ・令和6年度記者会見の日程について報告する。

#### (7) 令和6年度広報いいだ特集・テレビ広報制作計画について

##### ◇趣旨

- ・令和6年度広報いいだ特集・テレビ広報制作計画について報告する。

(8) 飯田市ウェブサイト改善プロジェクトの進捗状況について

◇趣旨

- ・飯田市ウェブサイト改善プロジェクトの進捗状況について報告する。

(9) リニア駅周辺 環境・景観配慮指針（案）たたき台について

◇趣旨

- ・リニア駅周辺 環境・景観配慮指針（案）たたき台について報告する。

◇意見

（産業経済部参事）

- ・高さ制限は現状 15mとなっているが 20mになることは、住民感情等を考えたときに実現可能性があるか。  
（地域計画課長）

- ・現在の地区計画の高さはそれぞれ 15m等としているが、緩和できる範囲においては、この基準によらずにデザイン検討会議（仮称）に判断を委ねながら協議して決定していくことを想定している。

（ゼロカーボンシティ担当参事）

- ・高さが制限されることで、商業施設が入ってきたときに、収益性が減ってくる。高さがないと事業として成り立たないなどの事業活動に影響が出る可能性について想定しているか。純粋に、景観などの観点だけで高さ制限を決めているのか、事業活動に対する影響についても検討しているのか。

（市長）

- ・今までは、高さ制限があることで事業者が進出できないという印象になっている。それを緩和できるエリアがあることを示すことで、今まで投資できない場所だと思われていることを変えていきたい。

（地域計画課調査計画係長）

- ・容積率の見直しも含めて、この場所だけでなく検討していく必要がある。

（議会事務局長）

- ・デザイン検討会議（仮称）は必要不可欠であると思う。この活動を担保していく法的なものの検討はしているか。この仕組みが継続していく必要があると感じる。

（地域計画課調査計画係長）

- ・他市の事例では、景観アドバイザー制度を景観法の中で使っていくような制度もあり、条例に位置付ける等検討が必要。どういう形が良いか精査していく必要はあるが、何かしら法的な根拠は付けていく予定である。

(10) 飯田市議会全員協議会（3/22）における報告事項について

◇趣旨

- ・飯田市議会全員協議会（3/22）における報告事項について報告する。

(11) 飯田市議会各委員会協議会における報告事項について

◇趣旨

- ・飯田市議会各委員会協議会における報告事項について報告する。

3 その他、連絡事項

内示及び辞令交付の日程等について（総務部）

4 閉会